

Trimble Business Center(出来形版) Ver.4.10 アップデート機能一覧

分類	機能	改良内容
インポート	LandXML(日本仕様)インポート	舗装のデータが適切に登録されない場合があった件を改善しました。
インポート	LandXML(日本仕様)インポート	片勾配データの登録に対応しました。
エクスポート	LandXML(日本仕様)エクスポート	現況地形がExistingGradeの名前で出力されていたのを、ExistingGroundで出力するように改善しました。
エクスポート	LandXML(日本仕様)エクスポート	距離や角度などを丸めて出力しないように改善しました。
エクスポート	LandXML(日本仕様)エクスポート	LandXML1.2スキーマに準拠しないデータの順番で出力していた件を改善しました。
エクスポート	LandXML(日本仕様)エクスポート	プロジェクト設定の単位>測点>ステーションフォーマットの設定が「フォーマットなし」の時にも、エクスポート設定の線形主要点ラベル>中間点の設定が中間点の点名の接頭辞として付加されていた件を改善しました。
エクスポート	LandXML(日本仕様)エクスポート	コリドールのオリジナルの面に設定している面と面縦断のデータから、縦断地盤線が出力されるようになりました。
エクスポート	LandXML(日本仕様)エクスポート	片勾配データの出力に対応しました。
コマンド	線形エディタ	片勾配の入力において、個々のカーブに対して待ち勾配区間なしの指定に対応しました。
コマンド	線形エディタ	片勾配の入力において、個々のカーブの開始側および終了側それぞれで逆標準勾配の位置の指定に対応しました。
コマンド	線形エディタ	片勾配の入力において、S字カーブの水平位置の指定に対応しました。
コマンド	横断面の3D変換	複数シートを対象にして一括で検出する機能を追加しました。
コマンド	横断面からコリドーテンプレートを作成	ラインモードで線を選択してサーチをクリックした際に、接続している線を追加できない場合がある件を改善しました。
コマンド	横断面からコリドーテンプレートを作成	絶対標高モードでトレースした時に、コリドーテンプレートの指示データが正しい形状で登録されない場合がある件を改善しました。
コマンド	横断面からコリドーテンプレートを作成	中心タブを廃止し、左右で異なる中心を指定できるようになりました。
コマンド	横断面からコリドーテンプレートを作成	1つ前の測点のテンプレートの指示データの状態から入力項目の初期値が自動設定され、よりトレースしやすくなりました。

Trimble Business Center(出来形版) Ver.4.10 アップデート機能一覧

コマンド	横断面からコリドーテンプレートを作成	左右どちらかの入力内容を、もう一方に複写(ミラー)する機能を追加しました。
コマンド	横断面からコリドーテンプレートを作成	ラインモードで線を選択した際に、選択線に接続する線を検索して自動的に追加する処理を分岐が発生するまで繰り返す「自動でサーチする」機能を追加しました。
コマンド	出来形合否判定総括表(様式31-2)の作成	完成形状で選択しているポイントクラウド領域について、表示フィルターにおける表示のオン/オフがレポート結果に影響していた件を改善しました。これに伴い、完成形状の選択についてピック選択からリスト選択に変更されました。
コマンド	出来形合否判定総括表(様式31-2)の作成	法肩・法尻を評価から除外するがオンの場合でも、法肩・法尻の除外領域の面積を評価面積に加えるように改善しました。(評価点の抽出方法が「測定した点」の場合に限ります)
コマンド	出来形合否判定総括表(様式31-2)の作成	完成形状の評価ポイントの間引きができるようになりました。間引きを行った場合は、間引き後のLASファイルを出力することもできます。
コマンド	出来形合否判定総括表(様式31-2)の作成	ヒートマップをグリッドで出力できるようになりました。
コマンド	出来形合否判定総括表(様式31-2)の作成	評価点として採用された点の情報をオリジナルデータとして出力する機能を追加しました。
コマンド	出来形合否判定総括表(様式31-2)の作成	レポート出力を途中で中止できるようになりました。
コマンド	出来形合否判定総括表[舗装](様式31-2)の作成	地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)に対応した出来形合否判定総括表の作成コマンドを新たに追加しました。

2018年4月
(株)ニコン・トリンブル